

【研究概要】

現在、人工関節周囲感染の診断は培養検査が主であるが、インプラント周囲組織の培養検査における細菌検出率は低く、同定まで時間を要する。我々は培養困難な細菌の早期検出を目的とし、超音波処理液に PCR を行い、薬剤耐性遺伝子の有無とバイオフィルム内細菌の存在を短時間で確認し、生化学・免疫学的マーカーの診断も加えた早期インプラント周囲感染診断の構築と NGS を用いた新規検査を 2 施設共同で行うことである。